

令和7年
2025年

12月24日
水曜日

第11861号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6か月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



「とちぎの和牛を考える会」が農相に要望書を提出……P6

- ▶ 大手豚肉サプライヤーインタビュー、グローバルピッグファーム 桑原政治代表取締役社長 …… P2～3
- ▶ 食料安全保障強化本部等合同会議、大臣折衝控える鈴木農相を激励—自民党 …… P3
- ▶ マルハニチロが十勝加工場事業をロピア運営のOICに譲渡 …… P3
- ▶ 令和6年肉用牛産出額、和牛頭数増加で前年比2・1%増 …… P4
- ▶ ～今年の食肉業界を振り返る～豚価異常な高値、依然疾病の発生続く …… P4～5
- ▶ [都内輸入食肉在庫・11月] 牛肉在庫量は前年同月比7・1%増 …… P6
- ▶ 「とちぎの和牛を考える会」、和牛生産に関する要望書を鈴木農相に提出 …… P6
- ▶ POSランク11月中華総菜製品 「SP肉まん」が首位 …… P6
- ▶ 「いきなり！ステーキ」神田に次世代型店舗を初オープン …… P7
- ▶ [POSランク11月洋総菜製品] イシイのおべんとクン ミートボール首位 …… P7
- ▶ 岡山県・採卵鶏農場で鳥インフルエンザ発生—農水省 …… P7
- ▶ 中華総菜製品11月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次 …… P8
- ▶ 洋総菜製品11月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次 …… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 23日 …… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 23日 …… P11

注目のヘッドライン

大手豚肉サプライヤーインタビュー
グローバルピッグファーム 桑原政治代表取締役社長

…詳細はP2～3

令和6年肉用牛産出額、和牛頭数増加で前年比2・1%増、

令和6年の農業総産出額は、米や野菜の価格が上昇したこと等から、前年に比べ1兆2849億円(13・5%)増加し、10兆7801億円となった。

…詳細はP4

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける

スターゼン

<https://www.starzen.co.jp/>

スでっちゃん

S Foods

<https://www.sfoods.co.jp/>

大手豚肉サプライヤーインタビュー グローバルピッグファーム 桑原政治代表取締役社長

—昨年度の経営概況や出荷頭数を教えてください。

出荷頭数は53万3366頭で、前年と同程度となりました。53万頭台の維持を目標としていたため、想定通りの結果といえます。今年度は56万頭を見据えており、豚熱からの回復過程にある現在、少なくともそれに近い数値には到達する見込みとなっています。

—生産現場での取り組みについておきかせください。

防疫を強化する一方、近年は夏の酷暑も運営に差し響いています。まずは繁殖の落ち込みを極力抑えられるよう、対策方法の勉強会や技術的なサポート体制の整備を進めています。

生産現場での困難は、養豚では1年越しにダメージを及ぼすこととなりますが、昨年と今年の繁殖状況を比較すると、暑熱による悪影響の軽減が確認されています。対策が実を結んだ証しんちやくだと感じます。

—生産現場におけるデジタル化の進捗状況はいかがですか。

農場での記入作業については、スマートフォンを使ってリアルタイムに入力、閲覧ができるように環境を整えました。まだ全農場での実用化には至っていないものの、すでに7割ほどの農場で導入されており、来期には100%に近づけたいと考えています。

また、昨年6月の組織改編で研究開発部という新部署を作りました。当社には専属のコンサル獣医がおりますが、獣医のよりの確な判断を現場に反映できるよう、同部署では統計データを用いたサポート体制を構築しており、これを先述した夏場の繁殖管理に役立てています。

在庫や出荷の状況把握から、より精度の高い生産予測につなげていきたいと考えています。

—販売先の拡大に向けて、現状はいかがですか。

2021年、当社のお荷頭数は58万9千頭にまで上昇しましたが、その後、豚熱などによって53万頭台に落ち込んでいます。

当社は「和豚もちぶた」のブランドメーカーですので、その他の豚肉で補填するといった方法をとっておらず、そのため、一部のスーパーマーケットなどでは

ピーク時に比べて販売スペースがやや狭まっている状況です。

現在は出荷頭数が回復傾向にあることから、当社と取扱問屋との連携を深めることにより、1

度減った売り場を再び広げていくことが必要となります。

年間を通して安定した売り上げを確保するベースを作るために、スーパーでの販売は大変重要です。現在「和豚もちぶた」を売っている全国のスーパーの周辺に住んでいるユーザーに対して、作り手である生産者の思いを、物語としてどうお伝えできるかがポイントとなるように思われます。

—催事への出展・実施状況について事例があればおきかせください。

関東圏の大型店舗に声をかけていただき、各種催事に出席し、「和豚もちぶた」の試食提供を実施しています。多くの人に味を知ってもらうことができ、ブランド認知にもつながる貴重な機会と捉えています。

料理教室やウインナー教室も地元・群馬や山形、大阪といった各地で行い、有意義な事業の一つとして定着してきました。

—商品開発について、取り組みの状況はいかがでしょう。

一昨年に立ち上げた商品開発室は、ここ数年で培ってきた経験や学習によってますます軌道に乗りました。「和豚もちぶた」のうまみ、素材の良さを生かすためのアイデアが飛び交っています。

また、ロースハムやボンレスハムといった売れ筋のみならず、副生物の加工品などをラインアップに加えて、バラエティー豊富な品ぞろえの実現を目指します。

—今後の事業に向けた意気込みをおきかせください。

当社は2年前に会社設立40年という節目を迎え



した。さらにその先を見据えた次のステージに進むためには、今は2030年に向けて、全国各地のメンバー農場とグローバルピッグファーム社員が一つになり、これまでの取り組みや準備を結実させることが肝とな

ります。

「和豚もちぶた」を通して、そのおいしさで多くの人々を幸せにしたいと考えています。そして、それがわれわれの生きがいでもあります。

食料安全保障強化本部等合同会議、大臣折衝控える鈴木農相を激励—自民党

自民党は22日、食料安全保障強化本部・総合農林政策調査会・農林部会・農政推進協議会合同会議を開催した。会議では、令和8年度予算編成の基本方針ならびに農林関係予算に関して、報告が行われた後、予算折衝を控える鈴木憲和農水大臣を迎え、宮下一郎総合農林政策調査会長をはじめ、農業団体から激励の言葉が贈られた。

鈴木農水大臣は「皆さまからの熱い期待を受け止めて、大臣折衝に当たっていききたい。先日、成立した補正予算では、総額9602億円、農業構造転換集中対策2410億円を確保することができた。8年度予算においても、農業構造転換集中対策の推進に必要な別枠予算が最後の調整事項となっている。これを着実に進められてこそ、わが国の農業の将来を切り開き、食料安全保障を確かなものにできると考えている」と述べた。

8年度当初予算では、畜産・酪農の生産基盤の強化として、畜産生産体制の強化に8億円(7年度当初予算=8億円)、畜産・酪農における環境負荷低減等の取り組みの推進のうち、飼料生産基盤立脚型酪農・肉用牛産地支援に52億円の内数(56億円)、農産漁村地域整備交付金に762億円の内数(同額)、持続可能性配慮型畜産推進事業に1億円(同額)が計上されている。家畜・食肉等の流通体制の強化として、食肉流通構造高度化・輸出拡大総合対策事業においては、調整中と報告された。



このほか、畜産・酪農経営安定対策に2307億円(2303億円)、家畜衛生等総合対策に77億円(同額)、消費・安全対策交付金に19億円(同額)の予算が盛り込まれている。

なお、大臣折衝事項では、「農業構造転換集中対策の推進に必要な別枠予算の確保」が示され、①農業農村整備(農地の大区画化等、中山間地域におけるきめ細やかな整備)②共同利用施設の再編集約・合理化③スマート農業技術の開発や生産性向上に資する農業機械の導入④施設整備、販路拡大などを通じた輸出産地の育成—を支援し、今後、農業者の急激な減少が見込まれる中、わが国の食料安全保障の強化に向け、農業の構造転換を強力に推進するため、次期通常国会での法案成立を見込んだ日本中央競馬界による財源拠出を踏まえ、農業構造転換集中対策期間において別枠予算を確保する。

マルハニチロが十勝加工場事業をロピア運営のOICに譲渡

マルハニチロは22日、畜産事業部が運営する十勝加工場事業を、スーパーマーケット「ロピア」などを運営する(株)OICグループ(川崎市)に譲渡すると発表した。4月1日に会社分割により新設会社、(株)十勝ミートセンター(北海道帯広市)に承継させた上で、新設

会社の発行済株式の全部を譲渡する予定。

十勝工場事業は北海道帯広市で、主に国産牛の加工・生産を行い、本州地区の量販店や生協などを中心に販売している。2025年3月期の売上高は45億5900万円、営業利益4600万円。

令和6年肉用牛産出額、和牛頭数増加で前年比2・1%増

農水省は23日、農業総産出額および生産農業所得を公表した。令和6年の農業総産出額は、米や野菜の価格が上昇したことなどから、前年に比べ1兆2849億円(13・5%)増加し、10兆7801億円となった。生産農業所得は、農産物の価格が上昇したことなどから、前年に比べ6728億円(20・4%)増加し、3兆9649億円となった。

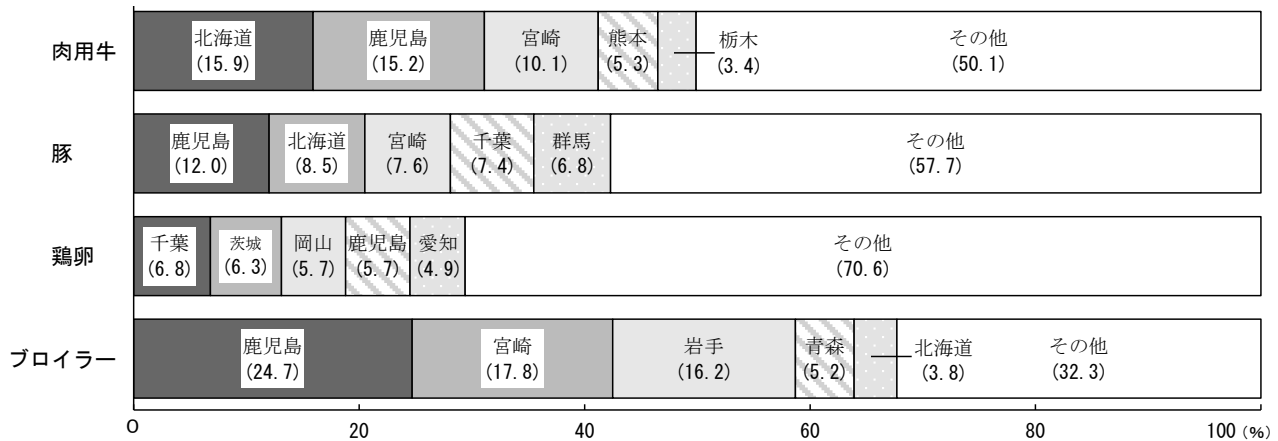
品目別にみると、肉用牛の産出額は前年に比べ165億円(2・1%)増加し、7861億円となった。これは、2～3年にかけての乳用牛への和牛受精卵の利用割合や繁殖雌牛の増加により、出生頭数が増加し、6年に出荷された和牛の頭数が増加したことなどが寄与したものと考えられる。

豚の産出額は、前年に比べ373億円(5・2%)増加し、7567億円となった。これは、引き続き需要が高い中、出荷頭数は前年を下回ったことにより、価格が堅

調に推移したことなどが寄与したものと考えられる。

ブロイラーの産出額は、前年に比べ212億円(4・7%)減少し、4259億円となった。これは、生産量はおおむね前年並みであったものの、高値基調となっていた価格が前年に比べ低下したことなどが影響したものと考えられる。

また、農業産出額の上位5都道府県は、北海道が1兆4817億円(前年増減率9・9%増)、鹿児島県が5689億円(4・6%増)、茨城県が5494億円(21・1%増)、千葉県が4533億円(1・5%増)、青森県が4119億円(18・8%増加)の順となった。畜産部門における部門・品目別産出額の都道府県別割合をみると、生乳は北海道(構成割合53・6%)、肉用牛は北海道(15・9%)、豚は鹿児島県(12・0%)、鶏卵は千葉県(6・8%)、ブロイラーは鹿児島県(24・7%)が最も大きくなっている。



～今年の食肉業界を振り返る～豚価異常な高値、依然疾病の発生続く

帝国データバンクの発表によると、今年10月時点で家庭用を中心とした飲食料品値上げは3024品目となり、前年同月より100品目多かった。2025年通年の値上げは、12月までの公表分で累計2万381品目となり、前年の実績を62・8%上回っている。これは原材料費、光熱費、人件費、物流費などの値上げに伴うもので、企業努力では吸収できなかったことによるものがほとんどだろう。近年は、円安を主な要因としたこの値上げ圧力が強まり、例えば食肉加工品は今年4月ま

で、半期ごとに7回の値上げを繰り返してきた。実質賃金の上昇がこの値上げに追いつかず、消費者の生活防衛意識は強まる一方である。このため食肉の中でも特に価格弾性値の高い牛肉は敬遠され、その需要が豚肉、鶏肉にシフトする傾向が今年もみられた。そのため、牛肉相場が軟調で推移したのに対し、豚肉、鶏肉相場は高騰した。輸入牛肉、豚肉も現地の相場高もあって高値で推移。一方で、豚熱、鳥インフルエンザといった動物疾病は今年も発生しており、今後の需給に影を落と

している。

消費者の生活防衛意識が強まる中、高級食肉である和牛は大きな影響を受けた。特に高級部位であるロース、ヒレは極端な不振で、輸出に回すことで何とか回っている状況にある。

こうした事態を受けて、農水省では「和牛肉需要拡大緊急対策事業」を措置。これは和牛肉の新規需要開拓などの取り組み、和牛肉の消費拡大・理解醸成の取り組み等、訪日外国人を対象に和牛肉を提供する取り組みについて支援するもの。こうした事業や年末に対する期待感から、低迷していた和牛相場は、12月に入ってようやく上向いてきた。

一方で、牛肉消費が減少した分のある程度は、豚肉、鶏肉へとシフトした。このため、豚肉、鶏肉相場は高騰。特に豚価は一時、900円を上回る異常な高値となった。豚肉は豚熱、鶏肉は鳥フルという疾病の影響もあったし、夏場の猛暑の影響もあって、需給バランスの失調を招いた。

さらに、輸入食肉も今年は高値で推移した。米国では景気が良いことから牛肉消費が増加したが、と畜頭数は減少した。このため牛肉の現地価格は高値で推移し、さらに輸入も活発だった。その輸入先の一つが豪州で、豪州の牛肉価格も上昇基調で推移。円安や入船遅れなどもあって、日本国内の仲間相場は高値基調となった。

状況は豚肉もほぼ同様だった。米国では牛肉の高値で需要が豚肉にシフトしたこともあって、豚肉消費は好調に推移している。このため現地価格は高値となり、米国産チルド豚肉の輸入量は減少。一方でカナダ産が大幅に伸びた。

鶏肉は世界的に需要が強まったが、鳥フルの関係で供給国は限られ、日本へはブラジル産が中心となった。そのブラジル産は国内需要が伸びた他、鳥フルの発生や世界各国からの買いが集まった結果、現地価格は強気の推移に。その次の供給国であるタイは、カンボジアとの紛争が拡大し、タイでカンボジア労働者が減少したことから、鶏肉調製品の輸入量に影響を与えた。

ここで1～10月の食肉輸入量をみてみると、牛肉が累計41万4403t(前年同期比8・4%減)、豚肉が80万4926t(2・0%減)、鶏肉が50万3054t(6・4%減)と、いずれも減少している。

相場高のみならず、小売店ではエネルギー価格の

上昇、人件費の上昇などさまざまな要因があつて、小売価格を上げざるを得ない状況が続いた。このため、家計調査をみると、支出金額増・購入数量減といった傾向が示されている。

支出金額を購入量で割った100g当たり単価は、1～10月累計で牛肉が372・0円(0・5円高)、豚肉が159・2円(4・9円高)、鶏肉が107・2円(6・1円高)とそれぞれ上昇した。

和牛相場が弱かったにもかかわらず、牛肉も単価が上昇しているのは、和牛以外の品種、交雑種や乳牛の相場が堅調だったのに加え、前述したように輸入牛肉相場も高かったからで、さらにその他の流通コストも加わっていることによる。

供給面では、酷暑の影響や動物疾病も見逃せない。昨年に続き、今年の夏も酷暑となり、残暑も長引いた。地域によっては、10月に入っても夏日を記録している。これが家畜の種付けや生育に影響し、特に豚、鶏の出荷減につながった。

鳥フルは6シーズン連続で発生しており、12月16日にも、兵庫県姫路市の家禽農場で高病原性鳥インフルエンザ(今シーズン国内7例目)の疑似患畜が確認された。今期の発生も採卵鶏農場が多く、卵価の高騰が懸念されるどころだ。

豚熱も依然として発生が続いている。11月19日には鹿児島県霧島市で野生猪が豚熱に感染した事例が県内で初めて確認されたことを公表した。野生猪の感染は県内初となる。わが国有数の生産地域だけに、これ以上の感染がないよう祈るしかない。

豚熱については4月、養豚農業の振興に関する基本方針で「今後、現下の発生状況やこれまでの対策の効果を踏まえつつ、関係者が連携し、清浄化に向けた道筋を示す」と示された。清浄化に向けたロードマップを策定すべく、具体的な検討が進められている。殺処分についてはこれまでの知見を踏まえ、範囲の見直しが可能か、専門家を含め検証していく。一方、効果的な方策を検討しつつ、野生猪の縮小が可能となれば、猪の感染リスクがない地域から飼養豚のワクチン接種を中止することができる。最終的には、全国でのワクチン接種の中止を目指す。

また、10月には台湾で初めてアフリカ豚熱(ASF)の発生が確認された。これにより、東南アジアで発生がないのは日本だけとなった。効果的な治療方法がないだけに、水際防疫の徹底が求められる。

【都内輸入食肉在庫・11月】牛肉在庫量は前年同月比7・1%増

東京冷蔵倉庫協会が公表した11月の都内食肉在庫によると、牛肉は入庫が1万4473t、出庫が1万5747t、在庫が5万7812tとなった。前年同月比では7・1%増となり、前月を下回った。

豚肉は入庫が3万3847t、出庫が3万9854tで在庫が10万4107tとなった。前年同月比では0・5%増となり、前月は下回った。

一方、鶏肉は入庫が1万3813t、出庫が1万7012t、在庫が3万9124tとなった。前年同月比では29・9%減となり、前月を下回った。

シーズンドポークなどを含むその他畜産・畜産加工品は、入庫が5298t、出庫が6293tで在庫が1万2876tとなった。前年同月比では23・7%減となり、前月を下回った。

東京都の輸入食肉月末在庫(保税在庫)

単位:トン、%

	牛肉	豚肉	鶏肉	羊肉	馬肉	その他畜産物
11月	53,982	103,585	55,792	1,210	1,010	14,917
12月	51,457	97,434	53,222	1,013	1,050	13,472
令和7年1月	52,496	99,162	55,020	1,075	1,118	13,690
2月	51,918	100,155	54,348	1,087	1,202	13,136
3月	53,673	99,231	48,832	1,217	1,133	12,669
4月	52,205	97,559	45,138	1,257	1,016	12,105
5月	55,206	109,231	45,349	1,667	1,080	12,856
6月	56,037	112,879	45,549	1,683	1,113	12,583
7月	56,373	113,902	42,796	1,568	1,136	12,524
8月	59,887	113,896	43,743	1,511	1,088	13,154
9月	56,789	112,054	43,678	1,397	1,034	13,563
10月	59,086	109,844	42,323	1,316	1,059	13,871
令和7年11月入庫	14,473	33,847	13,813	535	318	5,298
出庫	15,747	39,584	17,012	632	267	6,293
在庫	57,812	104,107	39,124	1,219	1,110	12,876
前年同月比	107.1%	100.5%	70.1%	100.7%	109.9%	86.3%

「とちぎの和牛を考える会」、和牛生産に関する要望書を鈴木農相に提出

「とちぎの和牛を考える会」の小池知道会長は、鈴木憲和農相に和牛生産に関する要望書を提出した。

小池会長は「和牛繁殖農家として、栃木で農業に携わっている。大臣の著書にあった“資源は使ってこそ守れ”という言葉は、まさに畜産や農業にも通じるものがある。今後、持続的に畜産を続けていけるように、私たちの生の声をきいていただきたい」と述べた。これに対し、鈴木農相は、「この国の和牛を支えていただいている皆さまには、感謝申し上げたい。私の地元、山形、米沢も和牛の産地なので、とくに繁殖がこれまで厳しかったが、ようやく良い方向に進んできた一方で、肥育についても餌代が高止まりしているの



で、容易でない状況が続いている。マーケットが今後拡大することができれば、日本の和牛はまだまだ稼げると思うので、さまざまな支援策をもって努力していく」と回答した。

POSランク 11月中華総菜製品「SP肉まん」が首位

(株)KSP-SPが全国食品スーパーマーケットから独自に収集した11月POS／中華総菜製品売れ筋ランキングによると、シジシージャパン「SP肉まん」(85g×4)が首位だった。2位は蓬萊本館「フレッシュ豚

まん」(120g×3)、3位は山崎製パン「肉まん 4個」、4位は紀文食品「肉まん 1個」(140g)、5位は井村屋「肉まん 3個」だった。対象店舗1066店舗の総販売金額は5億6395万1798円。

「いきなり！ステーキ」神田に次世代型店舗を初オープン

(株)ペッパーフードサービス(東京都墨田区、一瀬健作社長=写真)は22日、同社主力ブランドである「いきなり！ステーキ」の次世代型店舗「いきなり！ステーキ神田北口店」の24日のグランドオープンに際し内覧&新メニューメディア先行試食会を開催した。同店は従来の品質はそのままに店舗イメージを刷新し、1人客から家族客まで、幅広いお客がゆったりと食事を楽しめるモダンで開放的な空間を提供することをコンセプトとしている。

同社は創業以来、高品質な牛肉を使用した「本格的なステーキ」を多くのお客に提供してきた。創業者の「本格的なステーキを気軽に食べてもらいたい」という思いを継承しながら、変化する外食市場に合わせたブランド変革を積み重ねており、同店は、その象徴として位置付けられる次世代型店舗として、新たなステーキ体験を提供する店舗として誕生した。

会の冒頭、一ノ瀬社長は「当店の特徴は、空間デザインの革新として、1人客向けの座席は対面、そして相席になった時のストレスを感じさせない設計となっているほか、ボックス席も設け、家族や複数人での食事でもゆったりと楽しめる空間となっており、モダンで開放的なインテリアを設え、気軽に利用しやすい店内環境の演出に心がけた」とし、「調理技術に関してはスチームコンベクションオーブンを新規導入。



ステーキのうまみ・ジュシーさ・焼き加減の正確さを従来以上に追求し、より安定した品質で、理想的なステーキ体験を提供し、『安心・安定なおいしさをおとどけする』ことが当店で狙いである。



さらに、オープンに合わせて、豪州産の『骨付きリブロースステーキ 550g(税込み6800円)』を新メニューとしてラインアップ。グループでシェアできる、豪快に骨ごと焼き上げたぜいたくなステーキを楽しんでもらいたい。当店で取り組みを基に、今後の店舗展開や既存店舗のリニューアルに生かしていき、誰でも手軽に気軽にステーキを楽しめる世界の実現と、お客に愛されるブランドへと進化を続けていく」と述べた。

【POSランク 11月洋総菜製品】イシイのおべんとクン ミートボール首位

(株)KSP-SPが全国食品スーパーマーケットから独自に収集した11月POS/洋総菜製品売れ筋ランキングによると、石井食品「イシイのおべんとクン ミートボール」(120g×2)が首位だった。

2位は日本ハム「石窯工房 マルゲリータミニピ

ザ」、3位は伊藤ハム「ピザガーデンマルゲリータ1P」、4位は日本ハム「石窯工房 あら挽きソーセージ 3枚」、5位は日本ハム「とろける4種チーズハム

3個」だった。対象店舗1066店舗の総販売金額は5億392万8459円。

岡山県・採卵鶏農場で鳥インフルエンザ発生一農水省

農水省は20日、岡山県津山市の家禽農場で、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認(今シーズン国内8例目)されたと発表した。これを受け、農林

水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を開催。今後の方針を確認した。同農場の採卵鶏約43万羽は殺処分となる。

中華総菜製品11月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次

出典:KSP-POS 地区:全国、業態:全国食品スーパーマーケット、期間:2025年11月 対象店舗数:1,066店舗 品目合計:5億6,395万1,798円

順位	メーカー名 / アイテム名	金額	数量	平均 価格	金額 シェア	数量 シェア	販売店率
1	シジシージャパン SP肉まん 85g×4	22,911,853	77,454	295.8	4.1	3.1	31.52
2	蓬萊本館 フレッシュ豚まん 120g×3	19,510,039	46,016	424.0	3.5	1.9	46.06
3	山崎製パン 肉まん 4個	13,739,922	48,234	284.9	2.4	2.0	40.62
4	紀文食品 肉まん 1個 140g	13,693,573	63,352	216.2	2.4	2.6	52.16
5	井村屋 肉まん 3個	12,407,875	53,115	233.6	2.2	2.2	25.14
6	楽陽食品 チルドシューマイ 12個	12,002,230	122,494	98.0	2.1	5.0	62.95
7	紀文食品 肉まん3個 トレー 420g	11,382,133	23,871	476.8	2.0	1.0	21.20
8	中村屋 肉まんあんまん 個包装 6個	10,393,985	17,990	577.8	1.8	0.7	14.63
9	山崎製パン 肉まんあんまん(ごまこしあん) 4個	9,999,707	34,942	286.2	1.8	1.4	22.70
10	ホソヤコーポレーション 黄金龍饅頭焼売 37g×6	9,986,502	35,515	281.2	1.8	1.4	33.02
11	山崎製パン 肉まん・ピザまん 4個	9,651,780	33,757	285.9	1.7	1.4	42.31
12	紀文食品 スープ餃子12個 18g×12	9,182,995	46,299	198.3	1.6	1.9	61.91
13	中村屋 肉まん個包装 6個	8,787,343	15,344	572.7	1.6	0.6	12.48
14	山崎製パン 具たっぷり肉まん 4個	8,211,615	19,852	413.6	1.5	0.8	20.26
15	マルマツ 包み餃子 17g×20	7,146,719	20,542	347.9	1.3	0.8	28.14
16	シジシージャパン SP あんまん こしあん 85g×4	7,140,275	25,871	276.0	1.3	1.1	20.83
17	井村屋 あんまん 3個	5,911,592	26,323	224.6	1.1	1.1	23.92
18	紀文食品 紀文食品 肉餃子 12個	5,618,744	28,940	194.2	1.0	1.2	48.22
19	ホソヤコーポレーション 黄金龍饅頭餃子 21g×8	5,574,602	20,441	272.7	1.0	0.8	26.27
20	東洋水産 えびシューマイ 18g×8	5,460,425	22,515	242.5	1.0	0.9	70.73
21	紀文食品 バリバリポテト Wチーズ 12個 192g	5,337,408	27,435	194.6	1.0	1.1	71.01
22	井村屋 ピザまん 3個	5,324,352	24,238	219.7	0.9	1.0	22.05
23	テンフードサービス みよしの ぎょうざ 9個	5,313,718	27,959	190.1	0.9	1.1	7.04
24	日本ハム 天津閣ニラ焼餅 224g	4,850,065	15,987	303.4	0.9	0.7	50.75
25	中村屋 肉まんピザまん個包装 6個	4,807,606	8,393	572.8	0.9	0.3	9.94
26	山崎製パン もっちりとした肉まん 4個	4,748,695	16,963	279.9	0.8	0.7	21.39
27	紀文食品 肉ワンタン 12粒 90g	4,692,313	20,514	228.7	0.8	0.8	37.99
28	パロー パローセレクト 肉まん 390g	4,504,114	15,442	291.7	0.8	0.6	5.07
29	マルシンフーズ 宇都宮肉餃子 14g×14	4,424,531	18,874	234.4	0.8	0.8	47.37
30	東洋水産 肉ワンタン 126g	4,302,993	21,476	200.4	0.8	0.9	27.39
31	山崎製パン 肉まん 4個	4,171,456	17,884	233.3	0.7	0.7	7.69
32	珉珉食品 セミ餃子 10個 130g	4,170,965	38,473	108.4	0.7	1.6	17.64
33	桃屋 メンマ 100g	3,866,201	13,923	277.7	0.7	0.6	96.34
34	プリマハム 中華肉団子 210g	3,852,456	19,203	200.6	0.7	0.8	34.80
35	東洋水産 かにシューマイ 18g×8	3,798,685	16,009	237.3	0.7	0.7	54.41
36	日本ハム 羽根付き餃子 256g	3,699,579	22,285	166.0	0.7	0.9	42.50
37	山崎製パン 具たっぷり肉まん・ピザまん 4個	3,523,987	8,737	403.3	0.6	0.4	17.54
38	シンセイ食品 シンセイ食品 特大肉まん 150g×3	3,420,013	9,361	365.4	0.6	0.4	1.88
39	東洋水産 黒豚シューマイ 8個	3,367,072	14,252	236.3	0.6	0.6	42.68
40	米久 春巻 11個 286g	3,323,162	9,956	333.8	0.6	0.4	24.67
41	シジシージャパン SP 味付けメンマ 80g	3,102,762	24,994	124.1	0.6	1.0	12.95
42	山崎製パン 肉まんカレーまん 4個	3,078,660	11,032	279.1	0.6	0.5	20.64
43	イオントップバリュ イオンベストプライス 肉まん 80g×5	3,040,292	8,515	357.1	0.5	0.3	6.94
44	三栄食品 味付けメンマ三味 70g	3,029,273	26,791	113.1	0.5	1.1	5.53
45	紀文食品 あんまん 1個 140g	3,004,854	14,877	202.0	0.5	0.6	31.24
46	日本ハム スープ餃子 228g	2,982,201	16,424	181.6	0.5	0.7	38.37
47	イオントップバリュ イオンベストプライス 味付けメンマ 70g	2,847,684	22,511	126.5	0.5	0.9	10.13
48	ホソヤコーポレーション 昭和生まれの饅頭春巻 5本	2,708,603	10,556	256.6	0.5	0.4	23.26
49	楽陽食品 黒豚入り焼売 12個 138g	2,684,278	26,729	100.4	0.5	1.1	24.77
50	桃屋 ザーサイ 100g	2,645,209	9,537	277.4	0.5	0.4	93.43

洋総菜製品11月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次

出典:KSP-POS 地区:全国、業態:全国食品スーパーマーケット、期間:2025年11月 対象店舗数:1,066店舗 品目合計:5億392万8,459円

順位	メーカー名 / アイテム名	金額	数量	平均価格	金額シェア	数量シェア	販売店率
1	石井食品 イシイのおべんとクン ミートボール 120g×2	20,477,186	73,866	277.2	4.1	3.5	44.6
2	日本ハム 石窯工房 マルゲリータミニピザ	14,474,263	51,383	281.7	2.9	2.5	78.3
3	伊藤ハム ピザガーデンマルゲリータ 1P	13,215,365	58,537	225.8	2.6	2.8	55.2
4	日本ハム 石窯工房 あら挽きソーセージ 3枚	12,585,225	44,984	279.8	2.5	2.2	80.1
5	日本ハム とろける4種チーズハンバーグ 3個	12,336,506	41,433	297.8	2.5	2.0	79.7
6	マルシンフーズ マルシンハンバーグ 3P 75g×3	10,986,701	39,639	277.2	2.2	1.9	51.3
7	日本ハム 石窯工房 マルゲリータ 1枚	10,347,426	39,735	260.4	2.1	1.9	59.5
8	伊藤ハム ピザガーデンベーコン 1P	8,638,645	39,030	221.3	1.7	1.9	54.7
9	シジシージャパン Vパック チキンナゲット 300g	7,789,248	26,747	291.2	1.6	1.3	29.7
10	丸大食品 楽しいお弁当ミートボール てりやき味 57g×3	7,348,503	38,318	191.8	1.5	1.8	54.1
11	石井食品 イシイのおべんとクン ミートボール 120g	6,449,188	44,582	144.7	1.3	2.1	49.5
12	日本ハム チキチキボン 124g	6,414,633	21,938	292.4	1.3	1.1	58.4
13	日本ハム 厚切りピッツアブレッド 4枚	6,380,808	21,326	299.2	1.3	1.0	51.9
14	イオントップバリュ イオンベストプライス チキンナゲット 280g	6,257,182	22,780	274.7	1.2	1.1	12.5
15	伊藤ハム ラピッツァ マルゲリータ 1枚	5,956,613	21,146	281.7	1.2	1.0	30.0
16	日本ハム 石窯工房シャウエッセンピザ 1枚	5,899,752	22,777	259.0	1.2	1.1	50.2
17	伊藤ハム ピザガーデンチーズ 1P	5,429,197	23,852	227.6	1.1	1.1	38.7
18	伊藤ハム 鉄板焼きハンバーグ2個入り 109g×2	5,299,860	15,489	342.2	1.1	0.7	48.9
19	伊藤ハム ラピッツァグラントアルトバイエルン 1枚	5,186,867	18,940	273.9	1.0	0.9	39.4
20	伊藤ハム キッチンデリ ビーフシチューパイ 150g	5,134,807	19,771	259.7	1.0	1.0	60.0
21	日本ハム 石窯工房 4種のチーズピザ	4,965,914	19,818	250.6	1.0	1.0	43.5
22	プリマハム スパイシーチキン 220g	4,852,373	17,276	280.9	1.0	0.8	58.2
23	石井食品 ミートボール 120g×3	4,822,418	12,223	394.5	1.0	0.6	11.4
24	丸大食品 チキンハンバーグ 69g×3	4,772,249	23,299	204.8	1.0	1.1	72.0
25	日本ハム マルゲリータピザ 1枚	4,746,486	22,361	212.3	0.9	1.1	25.4
26	滝沢ハム お肉屋さんのハンバーグ デミグラスソース 102g	4,743,427	47,353	100.2	0.9	2.3	45.2
27	シジシージャパン Vパック デミグラスハンバーグ 160g	4,628,432	16,714	276.9	0.9	0.8	27.9
28	伊藤ハム 旨包デミグラスソースハンバーグ 220g	4,480,928	13,967	320.8	0.9	0.7	41.7
29	丸大食品 チキンナゲット 240g	4,320,517	16,192	266.8	0.9	0.8	23.5
30	日本ハム ふんわり生地のアメリカンドッグ6本入 300g	4,269,064	14,187	300.9	0.9	0.7	50.9
31	マルシンフーズ お買得ハンバーグ 70g×4	4,199,973	11,926	352.2	0.8	0.6	13.4
32	シジシージャパン Vパック 和風おろしハンバーグ 160g	4,113,322	14,859	276.8	0.8	0.7	26.9
33	伊藤ハム ピザガーデン てりやきチキン 1枚	4,066,239	18,133	224.3	0.8	0.9	36.3
34	滝沢ハム お肉屋さんのハンバーグ チーズ 102g	3,983,453	40,226	99.0	0.8	1.9	40.4
35	日本ハム シャーローワンズ 124g×2	3,945,433	13,806	285.8	0.8	0.7	47.8
36	丸大食品 楽しいお弁当ミートボール 57g×3	3,934,414	20,436	192.5	0.8	1.0	50.8
37	日本ハム うずら卵を包んだ肉だんご 2個×3	3,908,719	12,600	310.2	0.8	0.6	64.4
38	伊藤ハム キッチンデリ 若鶏のクリームシチューパイ 150g	3,817,906	15,026	254.1	0.8	0.7	50.8
39	マルシンフーズ ハンバーグ 70g	3,512,991	31,855	110.3	0.7	1.5	42.2
40	シジシージャパン ナン 95g×2	3,193,497	16,495	193.6	0.6	0.8	28.3
41	伊藤ハム コロコロチキン 120g	3,153,915	12,254	257.4	0.6	0.6	52.5
42	日本ハム 極み焼 和風おろしハンバーグ 210g	3,152,531	10,824	291.3	0.6	0.5	39.8
43	日本ハム 石窯工房 ドルチェポルコベーコンピザ 1枚	3,133,206	12,236	256.1	0.6	0.6	31.0
44	日本ハム 極み焼 デミグラスハンバーグ 210g	3,090,564	10,391	297.4	0.6	0.5	40.1
45	日本ハム チキチキボン 165g	3,085,830	8,423	366.4	0.6	0.4	17.1
46	石井食品 ニチリュウミートボール3個束 120g×3	2,959,673	8,093	365.7	0.6	0.4	4.8
47	伊藤ハム 海老・蟹・帆立香るポタージュパイ 150g	2,812,686	10,896	258.1	0.6	0.5	46.1
48	伊藤ハム 旨包ボリュームリッチ 和風おろしハンバーグ 190g	2,727,876	8,749	311.8	0.5	0.4	32.5
49	日本ハム ソーセージピザ 1枚	2,717,622	12,928	210.2	0.5	0.6	25.9
50	日本ハム ナンドッグとろけるチーズ&カレー 3個	2,692,364	9,288	289.9	0.5	0.4	39.7

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 12月23日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,184	2,803	2,476	-	-
		安値	2,172	2,106	1,944	-	-
		平均	2,452	2,368	2,157	1,116	-
		頭数	60	44	12	1	-
	雌 B	高値	-	-	-	1,620	-
		安値	-	-	-	1,189	-
		平均	-	-	-	1,352	-
		頭数	-	-	-	2	-
	去 A	高値	3,026	2,489	2,285	1,776	-
		安値	2,169	2,105	2,022	1,728	-
		平均	2,536	2,304	2,185	1,750	-
		頭数	125	45	10	2	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	1,810	-	-	
	頭数	-	-	1	-	-	
乳牛	雌 B - 頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C - 頭	平均	-	-	-	-	
	去 B - 頭	平均	-	-	-	-	
	去 C - 頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	-	1,558	1,456	
		頭数	-	-	9	9	
	雌 C	平均	-	-	1,417	1,420	
		頭数	-	-	2	2	
	去 B	平均	-	1,788	1,567	1,534	
		頭数	-	4	10	7	
去 C	平均	-	-	1,458	1,353		
	頭数	-	-	1	2		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	428 429	935 996	- 123.5	(競り)	(相対)	- 66

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,706	2,024	1,646	1,559	-
	B	-	1,851	1,512	1,429	1,263
和 去	A	2,397	2,314	2,110	-	-
	B	-	-	1,845	1,392	-
乳 雌	B	-	-	-	-	884
	C	-	-	-	-	796
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	-	1,791	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	-	1,091	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	720	829	783	693	524
	安値	611	529	475	410	346
	平均	655	563	535	521	461
	頭数	(7)	(337)	(371)	(183)	(98)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

[大阪食肉卸売市場] 12月23日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,666 (11)	2,460 (11)	- (1)	- (-)	- (-)
B	2,472 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
和 去 A	2,640 (23)	2,450 (9)	- (-)	- (-)	- (-)
B	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,868	1,698	-	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	1,840	1,814	1,711	1,624	-
C	-	-	1,649	-	-
豚	610	636	613	548	484

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	12月23日	12月22日	(12月累計)
豚	75,600	75,800	1,210,200
成牛計	3,880	4,360	89,040
和牛雌	790	1,000	22,570
和牛去勢	760	1,060	25,140
乳牛雌	960	520	12,340
乳牛去勢	270	500	7,370
交雑雌	410	510	9,490
交雑去	690	770	12,020

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 12月23日

	東京	大阪
	1,552円(前日 1,526円)	1,662円(前日 1,612円)

[豚・全農建値] 12月23日

上	中	取引頭数	市況
559円	534円	1,362頭	急落

と畜 売買	牛 77頭 牛 94頭	豚 183頭 豚 292頭	牛概況 豚概況	もちあい 続落
----------	----------------	------------------	------------	------------

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 12月23日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	616 (616)	- (-)	-	-	もちあい
仙台 [中]	563 (553)	469 (464)	703	150	反発
栃木 [地]	- (-)	- (566)	-	-	休市
茨城 [地]	557 (549)	538 (554)	1,598	777	反発
群馬 [地]	522 (514)	458 (429)	2,752	541	小反発
さいたま [中]	553 (541)	538 (531)	266	266	反発
東京 [中]	563 (550)	535 (525)	935	996	上伸
横浜 [中]	561 (632)	529 (593)	684	688	続落
山梨 [地]	653 (-)	655 (-)	177	93	もちあい
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	604 (627)	585 (605)	984	260	続落
京都 [中]	677 (667)	662 (635)	106	139	もちあい
大阪 [中]	636 (649)	613 (626)	183	258	続落
神戸 [中]	700 (-)	683 (-)	99	110	-
岡山 [地]	652 (644)	635 (632)	424	314	強含み
広島 [中]	633 (660)	594 (624)	385	100	急落
福岡 [中]	614 (666)	587 (612)	586	88	急落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 12月16日～12月22日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,434,021 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,247	1,288	1,337	1,291	78,543
うで	748	770	815	775	116,038
ロース	1,058	1,172	1,231	1,176	119,756
ばら	1,217	1,245	1,350	1,259	164,214
もも	729	739	789	752	181,013
ヒレ	1,067	1,119	1,186	1,106	5,195
セット	920	1,053	1,072	1,016	769,262

◇近畿圏 総重量 639,157 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,253	1,350	1,400	1,339	60,155
うで	648	713	775	708	105,565
ロース	1,048	1,188	1,239	1,161	87,864
ばら	1,258	1,389	1,462	1,402	122,467
もも	691	706	756	714	137,605
ヒレ	1,167	1,188	1,299	1,216	10,811
セット	902	1,036	1,167	1,038	114,690

[食鳥正肉日経相場] 12月22日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	712	800	981	215
ムネ	478	540	688	154

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	705	793	1,050	2
ムネ	469	530	610	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 12月22日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,046	758	550	600	650
安値	700	445	290	360	350
平均	803	547	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

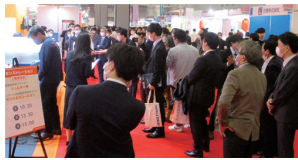
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡見 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーショナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します